



児童思春期・思春期青年期外来の開設について

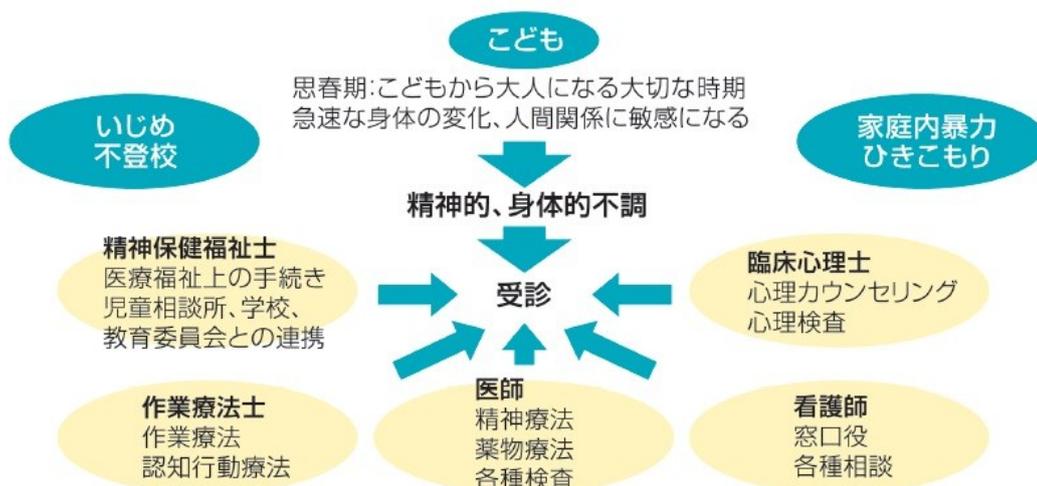
下関病院附属地域診療クリニック 院長 末次 正知

入院治療中心の時代から、患者さんが地域で生きていくことをいかにサポートできるかということに精神医療の重点が移って来ています。その為、当クリニックでは、デイケアや就労支援事業（患者さんが仕事に就くための訓練の場）、専門外来を立ち上げ、多職種によるチーム医療を提供しています。その一環として、この度児童思春期・思春期青年期専門外来を立ち上げました。

児童期においては自分が悩んでいることをうまく言葉で表現できなかつたり、思春期青年期においては心身に及ぶ年齢特有の葛藤があったり、人に相談するにはデリケートな問題を抱えていることがよくあります。これらの特徴から、児童期・思春期・青年期の患者さんの治療は多職種のチームで丁寧に行うことが必要です。この専門外来の医療チームは児童思春期の専門医、思春期青年期の専門医、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、看護師からなる多職種で形成しています（役割は図表をご参照ください）。前山口県立大学教授の林隆医師は、全国的に活躍しながら、県内の児童思春期医療を牽引するエキスパートです。中村尚史医師は、思春期青年期精神医学の大家である青木省三教授の愛弟子で、最高レベルの環境で研鑽を積んできた専門医です。二人の専門医を有するだけでなく、多職種が時間を惜しまず丁寧に対応することが当医療チームの大きな特徴となっております。さらに、これらの多職種が個別に動くのではなく、連携して患者さんに寄り添い、丁寧な医療を提供しております。

なお、心理的要因が大きいと考えられる場合でも、体の病気が隠れていることもあり、心理的要因ばかりでなく、身体的要因の探索も重要となります。当クリニックには、てんかんや睡眠覚醒障害の専門医、脳神経外科や神経内科の専門医もいることなど、心身両面へのアプローチが可能なことも当クリニックの大きな特徴です。

何でかよくわからないけど人とコミュニケーションがとれない、頭痛や腹痛が通院しても治らないなど、どんなことでも一度当クリニックにご連絡いただければ対応させていただきますので、どうか気軽にご相談いただければ幸いです。今後さらに児童思春期・思春期青年期外来を充実させたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。





なかやま ひろと
中山 寛人 先生

平成27年2月より非常勤で勤務しております。非常勤ですので、あまりお目にかかったことのない方もおられると思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

専門は認知症や高次脳機能障害で、前勤務先では診断やBPSD対応が主でしたが、今は特に認知症の予防について取り組んでおります。週1日と限られた時間ではありますが、得意分野を生かしてお役に立てればと思います。

みよし れみ
身吉 玲美 先生

初めまして。今年4月から非常勤でお世話になっている身吉玲美と申します。神経内科という科を専攻していますが、ご縁があってこちらの女子リハビリ病棟で初めての精神科診療をさせて頂いております。優しいスタッフ（師長さん、看護師さん、PSWさん、OTさん、皆さんお世話になっております）の方々、優しい患者さん方に囲まれて忙しい中にも癒されています。診察が忙しくて勉強する時間がなかなか取れないのが悩みですが、日々精進致しますので宜しくお願い申し上げます。

なかむら たかし
中村 尚史 先生

平成27年5月より、地域診療クリニック常勤医として勤めさせて頂いております中村尚史と申します。出身は下関で、大学入学を機に岡山に移住し、平成15年に川崎医科大学精神科学教室に入局しました。岡山では、思春期青年期の発達障害や強迫性障害、摂食障害などを中心に診療して参りました。この度、故郷に帰って参りまして、微力ながら地域貢献という形で恩返しできればと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

いしかわ ひろし
石川 裕史 先生

こんにちは、石川裕史と申します。山口大学医学部精神科で研修したことがあり、山口県にはなにかしらの縁があると思っています。大学時代はテニス部やサッカー部に所属していました。まだまだ勉強不足な点が多いと思いますが、宜しくお願いいたします。



下 関 学 術 講 演 会



エネルギーから見た農業のあり方

山口大学 農学部 生物資源環境科学科 教授 高橋 肇 先生

高橋先生と当法人は萩病院就労支援事業の事業コンセプトの相談をさせていただきました。「小麦栽培からパン制作へ」という事業コンセプトに賛同いただき、小麦栽培のノウハウやパン作成までのプロセスをご伝授していただきました。

講演会では

- ・光エネルギーと化石エネルギーの差が大きすぎて、光エネルギーでは生産性が少ない状況である
- ・農業や6次産業は化石エネルギーと光エネルギーを双方利用して儲けを表出するものであり光エネルギーだけでは難しい
- ・エネルギーの大量消費を抑えて生活をしていく事もこれからのライフスタイルなのかもしれない

というお話をいただきました。

さらに県内産の小麦が学校給食のパンに利用されていることで地産地消の大切さについてもお話くださいました。

異なる視点からの講演会でしたが大変わかりやすく興味を持ったご講話でした。

萩病院 武田 朋昭



認知症ケアの考え方・高め方

国立大学法人東京医科歯科大学 医学部 特任教授 朝田 隆 先生

朝田隆先生の講演に参加させていただきました。講演の中で、認知症の妄想・徘徊・暴力などの行動・心理症状（BPSD）が在宅介護を破綻させる最大の要因である、BPSDと生活機能障害への対応を理解し、その上でお世話をする相手の身体機能、出来る・出来ないことや行動パターンを知り、その対応法を学ぶ必要がある、とのことでした。

また、認知症ケアでは、"やってもらった"ではご本人の自尊心が高められず恨みが残ってしまう、学習は難しく、失いつつ生きる中で、どうやったらご本人のパフォーマンスが高められるか、という視点が重要で、特に印象に残ったのが、動作を一連の流れとしてリズムを重視しやって頂くことで"出来る"という件でした。

講演を踏まえ、プロフェッショナルとして認知症の方への対応をしっかりと身に付けていかななくてはならないと改めて思いました。

有料老人ホーム 山茶花 伊藤 明夫



法人研修会

下関病院

- | | | | |
|------|-----------------------------|-----|----|
| 事務部 | 年報作成による経営の見える化について | 大原 | 佳世 |
| 看護部 | 入院患者における患者評価から見る現状と就労支援への課題 | 多賀 | 清志 |
| P SW | 2025 年問題 | 村上 | 将剛 |
| O T | 就労準備に向けた作業療法の現状と課題 | 田名橋 | 佳伸 |
| 心理 | 老年期の患者への心理的アプローチについて | 富田 | 祐希 |



萩病院

- | | | | |
|------|------------------------|----|----|
| 事務部 | 特性要因図を用いた合同ミーティングの一例 | 中田 | 恵一 |
| 看護部 | 病院から地域へ～ 家族を巻き込んだ退院支援～ | 島崎 | 寛 |
| P SW | グループホームにおける支援体制のあり方 | 永島 | 美幸 |
| O T | 作業ってな～に？ | 岩永 | 拓也 |
| 心理 | 就労支援における臨床心理士の役割について | 武田 | 朋昭 |



江藤病院

- | | | | |
|------|--|----|-----|
| 事務部 | 算定業務における課題の解消 | 一杉 | 由美子 |
| 看護部 | 回復期リハビリテーション病棟への転換を目指して | 西 | 友美 |
| P SW | 江藤病院における地域連携活動が持つ意味 | 津村 | 繁晴 |
| O T | 疾患別リハビリテーションの概要と療養病床転換を目指した今後の取り組みについて | 藤田 | しのぶ |
| 心理 | 江藤病院のメンタルヘルス活動について | 米田 | 孝 |



7月4日(土)当法人初めての試みとなる3病院合同法人研修会が行われました。下関病院、萩病院、江藤病院より5部署(事務・看護部・PSW・OT・心理技術部)の計15部門より各々でテーマを自由に決め、発表を行いました。

早期退院や就労支援など医療改革に向けて、各部署が何をすべきか、また他職種とどう連携していくか等様々な課題がありました。

終了後、各部門の優秀賞が選ばれ、さらに最優秀賞として萩病院事務部が選ばれました。

今後も定期的開催し、3病院のそれぞれのセッションで競い合い、切磋琢磨していく良い機会とし、当法人の向かうべき方向を再確認する場としたいと思います。

(事務部 大原 佳世)

就労支援事業所 かじくり のご紹介

就労支援事業所かじくりでは、働きたいけど自信がない、仲間と一緒に働きたい、充実した毎日を過ごしたい方などに対して、日中の活動の場を提供しています。また、一般就労が困難で、働く場を求めている方へ就労の機会を提供し、一般就労へ向けて必要な知識や技術の指導も行っております。

作業内容は、**洗濯サポート**、**環境整備**、**農園活動**、**豆腐事業**です。見学も随時行っております。また、事業所内では豆腐の販売をしております。非常に糖度の高いミヤギシロメという大豆と天然由来のにがりを使用した手造り豆腐です。

お電話での注文も承っております。是非一度ご賞味ください。

TEL:083-227-4325 就労支援事業所 かじくり吉村 祐太郎



洗濯サポート



環境整備事業



農園事業



美豆の希とうふ



就労支援事業所 (豆腐直売所)



豆腐事業

下関病院

夏祭り

Summer Festival 2015

8月1日(土) 下関病院敷地内にて夏祭りを開催しました。

職員による焼き鳥やかき氷などの屋台出店をはじめ、毎年恒例行事となっている託児所の可愛い園児によるダンスショーや平家踊りを行いました。

また、今年は新たな試みとして夏祭り抽選会を企画し、職員から景品を集め、実行委員会を中心に 200 個以上のラッピング作業を行いました！一等景品は高品質でおなじみの今治の有名なバスタオルなどを詰め合わせた高級日用品セットで、入院患者さんや地域の方々も大変喜ばれていました。

夏祭り実行委員長 近藤 圭佑

- (株)大林組 様
- (株)タカラ 様
- 西日本医療サービス(株) 様
- (株)岩多屋 様
- 栄食メディックス(株) 様
- (有)ライフクリーニング 様
- 松田清掃(株) 様
- (有)華企画 様
- (株)友田組 様
- (株)モリワカ 様
- 西京銀行 様
- コカ・コーラ
- ウエスト(株)下関支店 様

ご協賛ありがとうございました。



行事報告

音楽会

6月13日(土) 下関病院多目的ホールにて音楽祭を実施しました。ボランティア団体「しものせき竹アンサンブル」の方々をお招きし、竹楽器の生演奏を鑑賞させていただきました。竹楽器は楽団のみならず手作りしているとお話があり、患者さんからも驚きの声が上がっていました。優しい竹の音色に癒され、患者さん参加型での竹楽器の演奏や、合唱のコーナーもあり会場が一体となり楽しい時間を過ごすことができました。(作業療法士 石田 晋平)



敬老会

9月25日(金)に下関病院にて敬老会を開催しました。託児所の園児さんによる可愛いダンスやOT職員による出し物、御年90歳超えておられる方々への表彰として感謝状を贈呈させて頂きました。敬老会の最後には参加者全員による「故郷」の合唱を行い、短い時間ではありましたが、皆さんで楽しい時間を過ごすことができました。(作業療法士 北野 千絵)

連載 第18回

スタッフでつなげる、趣味のはなし。



つなげよう!

スタッフのわ



高木 友里菜 精神保健福祉士

私の趣味は大学生の頃に始めたハンドベルです。1人2音~4音程度を担当するハンドベルの演奏は、皆の気持ちを合わせることが何よりも大切です。そして、皆の音が揃った瞬間の一体感と達成感は何とも言えません。聴いても楽しく、演奏してみると更に楽しいハンドベルの魅力は奥深いです。クリスマスシーズンになると街中でも耳にするかもしれません。機会があればぜひ優しいハンドベルの音色に耳を傾けて、癒されてみて下さい。

次回は、豊松苑の西さんです。おたのしみに!



下関病院 広報委員会

〒759-6613
山口県下関市富任町6丁目18番18号
TEL : 083-258-0338
FAX : 083-259-8876
ホームページ : <http://www.mizunoki.jp>
Eメール : shimobyou@mizunoki.jp



水の木会 検索

少し前まで、汗ばむほどの陽気でしたが、近ごろは、朝晩急に冷え込み、冬の気配が感じられるようになりました。これからの季節は患者さんももちろん、スタッフも体調管理をして、残りの2か月を元気に乗り切り、新年を迎えられるようにしましょう。



(広報委員 松本 大輔)